

KVK デッキ型サーモスタット式シャワー・混合栓 FTB200D(W)(T)・MTB200D(W)(T) (各仕様共通) 施工説明書

施工前にこの施工説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
 施工後は、お客様へご使用方法を十分ご説明のうえ、この施工説明書と取扱説明書をお客様へお渡しください。
 ※この施工説明書はFTB200DP1仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡または重傷」に結び付く可能性があります。

注意 「傷害または物的損害」に結び付く可能性があります。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

禁止 してはいけない「禁止」の内容です。

必ず実行 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

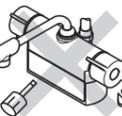
禁止 湯水を逆に配管しないでください。
 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
 必ず給水管が右側、給湯管が左側に配管されていることを確かめてください。



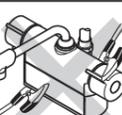
禁止 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。給湯器の給湯温度は50℃～60℃に設定することをおすすめします。
 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止 この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取りはずし等の改造はしないでください。
 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止 配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。
 通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止 [寒冷地仕様の場合]
 逆止弁付ストレーナは水抜きおよび清掃以外の目的で開けないでください。
 逆止弁付ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

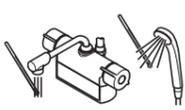


警告

必ず実行 スチームルームおよび乾燥室にご使用の際は相談ください。
 器具が破損してやけど・漏水のおそれがあります。



必ず実行 温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。
 使用条件によっては目盛通りの湯温にならず、やけどをするおそれがあります。

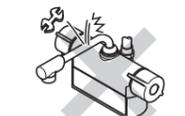


必ず実行 逆止弁付ストレーナの清掃は止水弁または元栓で湯水を止めてから行ってください。
 高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



注意

禁止 器具に強い力や衝撃を与えないでください。
 器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止 めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。
 鋭利な物や硬い物を当てないでください。
 めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。



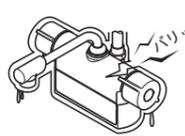
禁止 [めっきシャワーヘッド仕様の場合]
 めっきシャワーヘッドは、公衆浴場・レジャー施設等の不特定多数の方が頻繁に利用する場所では使用しないでください。
 めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。



必ず実行 めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。
 けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。



必ず実行 凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合は少量の水を出しておくか配管に布を巻くなどして凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。
 水抜きしないと凍結破損で漏水し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

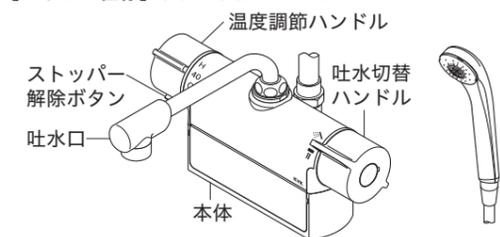


1 取り付け前に

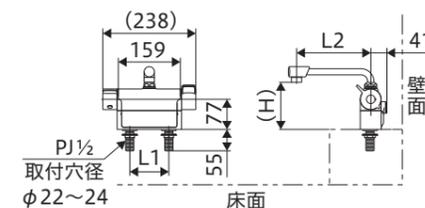
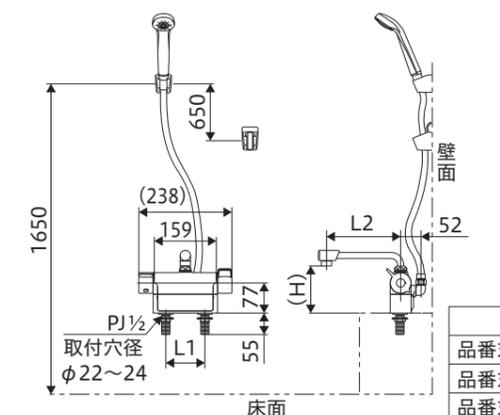
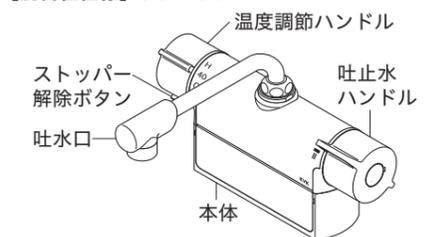
- ① 使用水圧 (A = (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
 最低必要水圧は、シャワーヘッドの仕様によって異なる場合がありますので、シャワーヘッドの説明書をご確認ください。
 (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃/給湯器温度調節: 高温/吐水温度: 42℃/ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧: A+0.05MPa(動水圧)、最高水圧: 0.75MPa(静水圧)
 (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A+0.05MPa(動水圧)、最高水圧: 0.75MPa(静水圧)
- ② 吐水切替ハンドル(または吐止水ハンドル)は全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の設定温度は使用する吐水温度より高めに設定してください。給湯器の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は抵抗を少なくするため、最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(構成する部品以外の取り付けや部品の取りはずし等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。
- ⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。
- ⑫ オートストップ(自動お湯はり)機能付きの給湯設備を水栓の湯側配管に接続して使用した場合、自動お湯はりが終わっても少量の水が出る場合がありますが、異常ではありません。このような場合は、水栓のハンドルで水を止めてください。

2 取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 (品番によって寸法が異なる場合があります)

[シャワー仕様] イラストはFTB200DP1



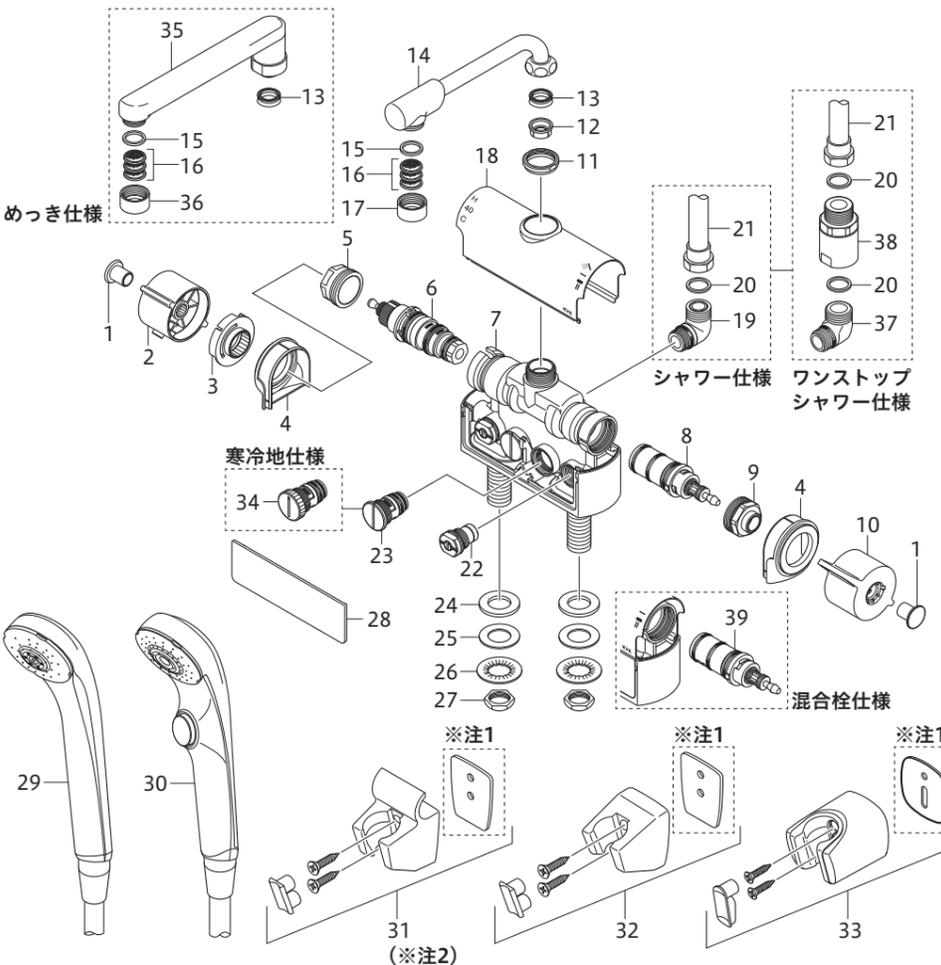
[混合栓仕様] イラストはMTB200DP1



品番	L1	仕様		L2	H
		標準			
樹脂ハンドル仕様		標準		190	120
		R2		240	
		R3		300	
めっき仕様 (品番末尾T)		標準		190	123
		R2		240	
		R3		300	

3 分解図 (部品の形状は仕様により異なります)

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



※注1. ハンガーパッキンは仕様により同梱されていないものがあります。
 ※注2. ホースフック付ハンガーは仕様により同梱されていないものがあります。

1 キャップ	11 吐水口リング	21 シャワーホース	31 ホースフック付ハンガー
2 温度調節ハンドル	12 プッシュ	22 止水弁	32 シャワーハンガー
3 温調ストッパーリング	13 Xパッキン	23 逆止弁付ストレーナ	33 シャワーハンガー
4 カラー	14 吐水口	24 シートパッキン	34 逆止弁付ストレーナ
5 温調固定ナット	15 パッキン	25 パッキン	35 吐水口
6 サーモスタットカートリッジ	16 ストレーナ	26 菊座	36 整流器キャップ
7 本体	17 整流器キャップ	27 締付ナット	37 シャワーエルボ
8 一時止水付切替弁ユニット	18 トップカバー	28 メンテナンスカバー	38 減圧装置
9 切替固定ナット	19 シャワーエルボ	29 シャワーヘッド	39 止水ボンネットユニット
10 吐水切替ハンドル	20 パッキン	30 シャワーヘッド	

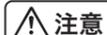
4 取り付け手順

1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。

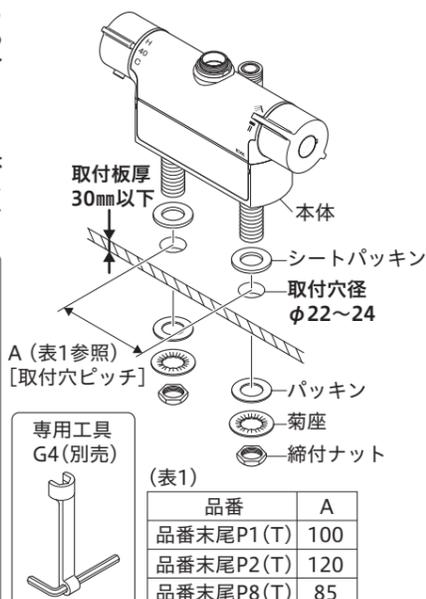
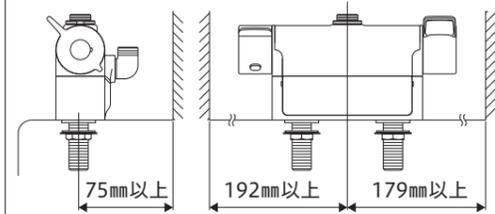
2 本体の取り付け

本体設置場所が平面であることを確認し、下図の順に本体を固定します。



- 本体取り付け前に設置場所が平面であることを必ず確認してください。凸面があると本体がゆがんだり設置できない場合があります。
- 締めナットの締め付けは、専用工具G4(別売)で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- 【お願い】 保守点検のため、下記の距離をあけてください。
- 本体取付穴から本体後方壁面：75mm以上
 - 本体中央から温度調節ハンドル側壁面：192mm以上
 - 本体中央から吐水切替ハンドル側壁面：179mm以上



3 シャワーホースの取り付け [シャワー仕様のみ]

① [ワンストップシャワー仕様のみ]

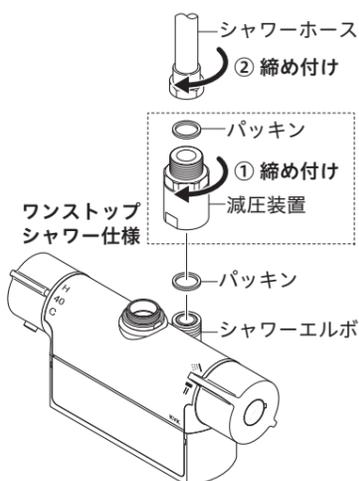
シャワーホースから減圧装置をはずし、シャワーエルボと減圧装置の間にパッキンをはさみ、減圧装置を取り付けます。締め付けは、二面幅に合わせて、モンキーレンチなどで確実に行ってください。

【お願い】 締め付ける際は傷がつかないようにあて布等をしてください。

- シャワーヘッドの損傷を防ぐため、必ず減圧装置をシャワーエルボに取り付けてください。減圧装置を取り付けないと、シャワーヘッド本体が損傷するおそれがあります。

② シャワーエルボまたは減圧装置とシャワーホースの間にパッキンをはさみ、シャワーホースを取り付けます。

【お願い】 締め付ける際は傷がつかないようにあて布等をしてください。



5 ページ

5-4 サーマスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジは施工後必ず清掃してください。サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりします。

【警告】 サーマスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ① メンテナンスカバーの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、メンテナンスカバーをはずします。(「本体の逆止弁付ストレーナ清掃のお願い」参照)
- ② 湯水の止水弁[2か所]または元栓をしっかりとめて、吐水切替ハンドル(または吐水ハンドル)を回して湯水が出ないことを必ず確認してください。

【お願い】 キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

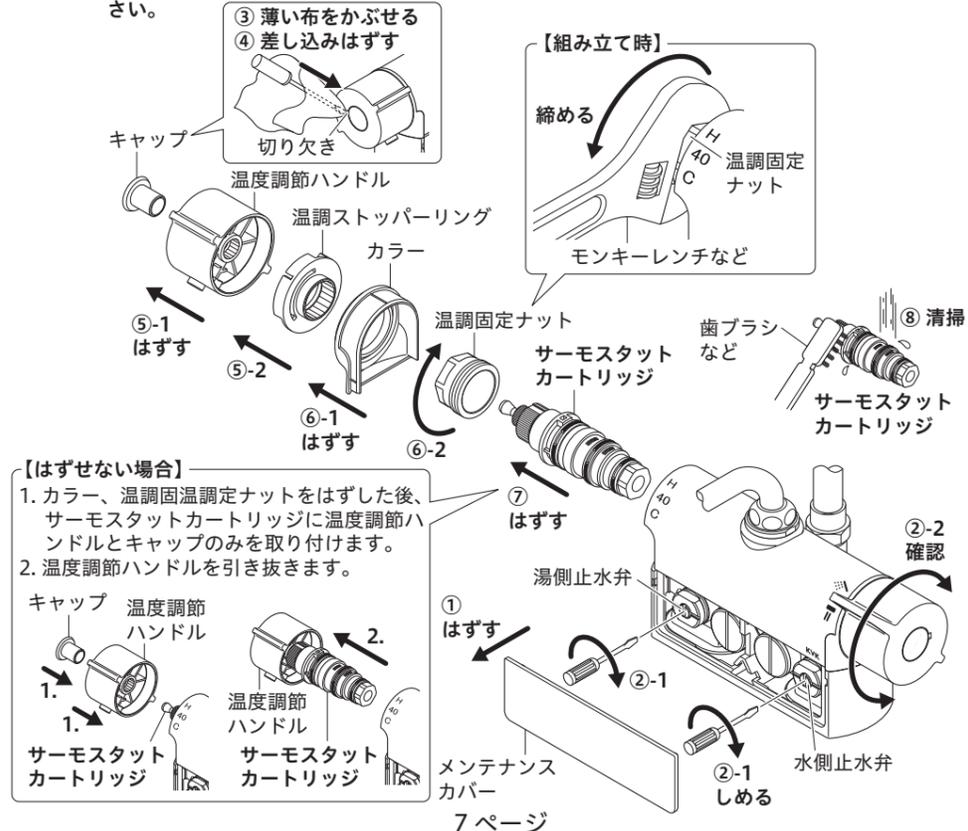
- ③ 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。
- ④ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。
- ⑤ 温度調節ハンドルと温調ストッパーリングをはずします。
- ⑥ カラーをはずした後、温調固定ナットを取りはずします。
- ⑦ サーマスタットカートリッジを取りはずします。

(はずせない場合は、温度調節ハンドルとキャップをはめた状態で引き抜いてください。)

⑧ サーマスタットカートリッジをブラシで水洗いします。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

【お願い】 組み立て時、温調固定ナットはモンキーレンチ等で確実に締め付けてください。取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。



7 ページ

4 吐水口の接続

吐水口を吐水口接続部に接続します。締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチなどで確実に行ってください。
【お願い】 締め付ける際は傷がつかないようにあて布等をしてください。

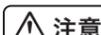


5 ステッカーの貼り付け

使用方法ステッカーを見やすい位置に貼り付けてください。

5 取り付け後の点検と清掃

5-1 通水確認



水栓取り付け後、通水して湯水の出し止めに5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓からの水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

5-2 本体の逆止弁付ストレーナ清掃のお願い

逆止弁付ストレーナは施工後必ず清掃してください。本体の逆止弁付ストレーナにゴミ等がつかると、吐水量が減ったり、希望する吐水温度にならない場合があります。

【警告】 逆止弁付ストレーナの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。逆止弁付ストレーナをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。湯側逆止弁付ストレーナの中には熱湯がたまっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

- ① 湯水全開で20~30秒吐水させます。
- ② メンテナンスカバーの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、メンテナンスカバーをはずします。【お願い】 メンテナンスカバーをはずす際は、傷がつかないようにしてください。
- ③ 湯水の止水弁[2か所]をしっかりとめて、吐水切替ハンドル(または吐水ハンドル)を回して湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ④ 逆止弁付ストレーナ[2個]を取りはずします。
- ⑤ ゴミ・水アカ等を洗い流します。



清掃後は、上記の逆の手順で組み込んでください。シャワー仕様の場合、逆止弁付ストレーナを締め込むとき、吐水切替ハンドルを吐水側にしてください。混合栓仕様の場合、逆止弁付ストレーナを締め込むとき、吐水ハンドルを吐水側にしてください。

5-3 吐水口のストレーナ清掃のお願い

ストレーナは施工後必ず清掃してください。吐水口のストレーナがつかると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりします。

取扱説明書「吐水口のストレーナ清掃方法」参照

6 ページ

5-4 サーマスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジは施工後必ず清掃してください。サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりします。

【警告】 サーマスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ① メンテナンスカバーの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、メンテナンスカバーをはずします。(「本体の逆止弁付ストレーナ清掃のお願い」参照)
- ② 湯水の止水弁[2か所]または元栓をしっかりとめて、吐水切替ハンドル(または吐水ハンドル)を回して湯水が出ないことを必ず確認してください。

【お願い】 キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

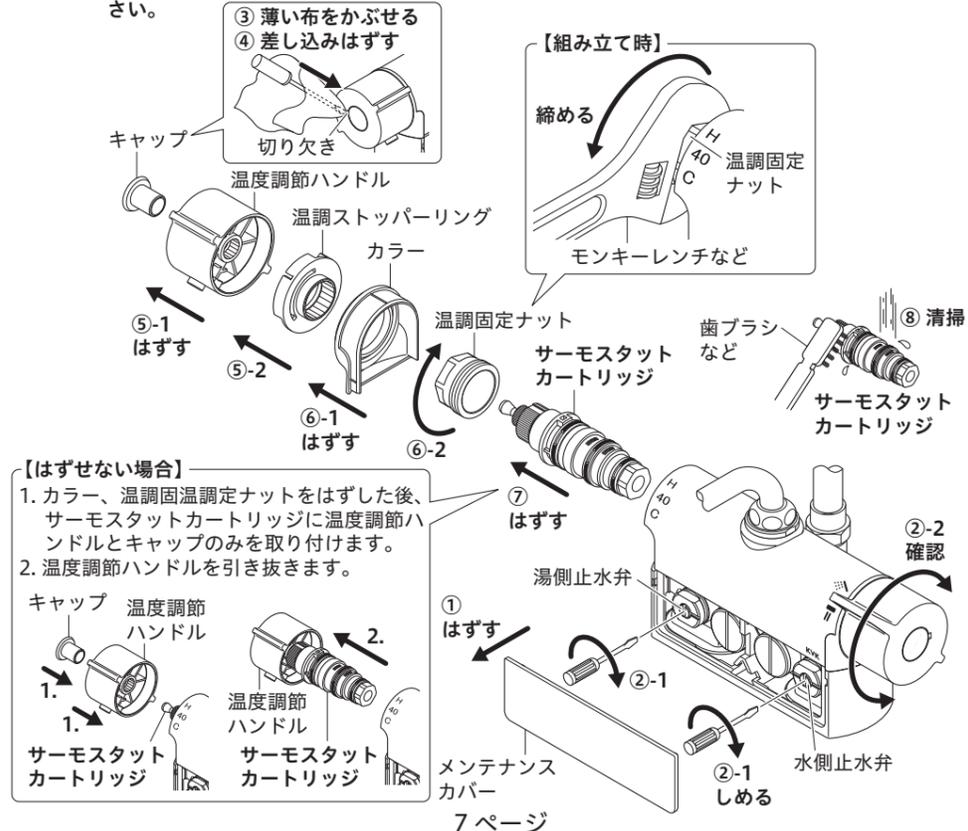
- ③ 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。
- ④ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。
- ⑤ 温度調節ハンドルと温調ストッパーリングをはずします。
- ⑥ カラーをはずした後、温調固定ナットを取りはずします。
- ⑦ サーマスタットカートリッジを取りはずします。

(はずせない場合は、温度調節ハンドルとキャップをはめた状態で引き抜いてください。)

⑧ サーマスタットカートリッジをブラシで水洗いします。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

【お願い】 組み立て時、温調固定ナットはモンキーレンチ等で確実に締め付けてください。取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

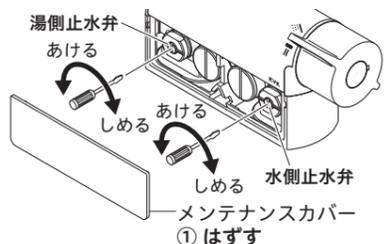


7 ページ

5-5 流量の調節方法

吐水切替ハンドル(または吐水ハンドル)を全開にした際の吐水量が多すぎる場合は、右記の方法であらかじめ流量調節を行ってください。

- ① メンテナンスカバーの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、メンテナンスカバーをはずします。(「本体の逆止弁付ストレーナ清掃のお願い」参照)
- ② 湯水の止水弁[2か所]を操作して流量を調節します。時計回りに回すと流量が少なくなり、いっぱいまで回すと止水します。また、反時計回りに回すと流量が多くなり、いっぱいまで回すと最大流量となります。



5-6 温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしています。使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛と吐水温度がずれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

温度調節ハンドルの設定前に確かめてください

- 止水弁はあいているか
- ストレーナにゴミづまりがないか
- 給湯器の給湯温度は50°C~60°Cに設定されているか

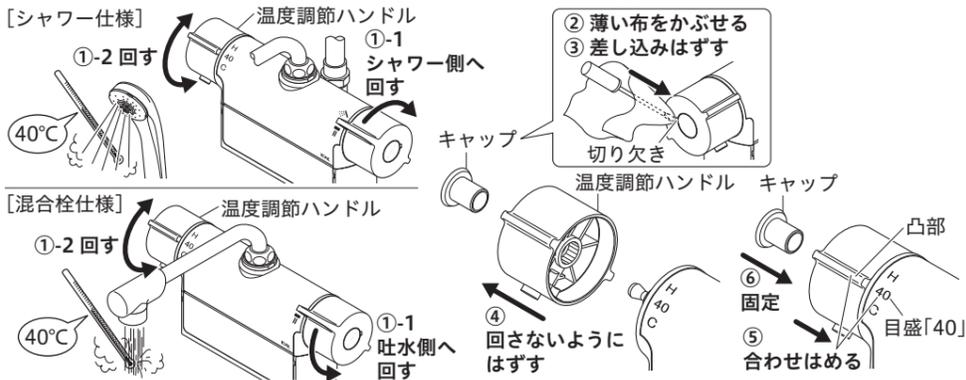
- ① 吐水切替ハンドルをシャワー側(または吐水ハンドルを吐水側)へ回し、全開吐水で目盛に関係なく適温(約40°C)のお湯が出るまで、温度調節ハンドルを回します。

【お願い】 キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

- ② 薄手の布を精密ドライバー先端にかぶせます。
- ③ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。
- ④ 温度調節ハンドルを回転させないようにはずします。
- ⑤ ハンドルの凸部を目盛「40」に合わせてはめます。
- ⑥ キャップで温度調節ハンドルを固定します。

【お願い】 取り付け後は、温度調節ハンドルの凸部が目盛「40」の位置で吐水温度が適温(約40°C)になっていることを確認してからご使用ください。

※目盛は温度表示ではありません。目盛は温度調節の目安としてください。

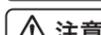


6 故障かなと思ったら

修理を依頼される前にお確かめください。

➡ 取扱説明書「故障かなと思ったら」参照

水栓本体内部のメンテナンスをする場合



修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因となります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ

405354-00